

# 骨折予防へ市と連携

## 小樽市立 受傷前からアプローチへ

小樽市立病院（並木昭 救急車等で運ばれてきた

いう。

義事業管理者、有村佳昭 院長・388床）は、リ  
エゾンチームを結成し、  
高齢者等の2次性骨折予  
防に力を入れている。さ  
らに骨折自体を予防する  
ため、新たに小樽市と連  
携。住民に向けた啓発活  
動などを強化していく。

そこで、地域のクリニ  
ックが骨密度検査を同病  
院に気軽に依頼できるよ  
う、チェック項目に印を  
記入するだけで済む簡易  
的な紹介状をホームペー  
ジ上などに掲載する予定  
だ。

同病院は、院内で医師、  
外来・病棟看護師、薬剤  
師、管理栄養士、放射線  
技師、理学療法士、ソー  
シャルワーカー、メディ  
カルクラークによる2次  
性骨折の予防のための骨  
折リエゾンチームを設置  
している。骨折によって

現在は、大腿骨近位部  
骨折などで手術した患者  
を対象とした、二次骨折  
予防のための骨折リエゾ  
ンサービス（FLS）が  
メインだが、佃幸憲整形  
外科主任医療部長は「市  
内では高齢者が増加して  
おり、今後は骨粗鬆症予  
防や治療をメインとした  
OLSへと活動を発展さ  
せていくことが課題」と

一方、同市では医療費  
分析から後期高齢者の  
骨折が上位4番目に位置  
し、介護移行への主要要  
因となっていることに着  
目。福祉保険部が中心と  
なって高齢者の保健事業  
と介護予防の一体的実施  
事業のハイリスクアプロ  
ーチを行っている。

具体的には、レセプト  
データを解析して、脆弱  
性骨折がある者の中から  
未治療者・治療中断者  
を抽出し、個別の受診勧  
奨通知を送送しているほ  
か、保健指導を実施して  
いる。

骨折によって

骨折などですべての患者  
を対象とした、二次骨折  
予防のための骨折リエゾ  
ンサービス（FLS）が  
メインだが、佃幸憲整形  
外科主任医療部長は「市  
内では高齢者が増加して  
おり、今後は骨粗鬆症予  
防や治療をメインとした  
OLSへと活動を発展さ  
せていくことが課題」と

骨折が上位4番目に位置  
し、介護移行への主要要  
因となっていることに着  
目。福祉保険部が中心と  
なって高齢者の保健事業  
と介護予防の一体的実施  
事業のハイリスクアプロ  
ーチを行っている。

開始したばかりの事業  
を一步ずつ充実・拡大さ  
せるため、まずは同病院  
と連携して活動の成果を  
まとめ、同時に市民向け  
のセミナーの開催など、  
ポピュラーシヨニアプロ  
ーチへの展開を進めてい  
く予定という。